

# 新型コロナウイルス感染症の 地域経済への影響を可視化する V-RESAS について

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 ビッグデータチーム

## 1. V-RESAS について

### (1) V-RESAS の背景、狙い

内閣府地方創生推進室及び内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局では、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）拡大が地域経済に与える影響を可視化するために、令和2年6月30日に「V-RESAS」(<https://v-resas.go.jp/>) を公開しました。経済産業省が構造的な地域経済に係わる様々なビッグデータを収集し、分かりやすく「見える化」するシステムとして、RESAS（地域経済分析システム）を運用しているところですが、V-RESAS ではより足下のデータを見られるという意味を込めて、「Vital Signs of Economy：地域経済の健康状態のサイン」の「V」を頭につけました。

公開当初は4種類のデータ（人の流れ、飲食店、決済、POS）でスタートしましたが、順次データの追加や機能の拡張を行い、刊行時点で、9種類が掲載されています。データの活用方法が分からない、どのようにデータを見たら分からないという方が多いかと思っておりますので、トップページ1番下にある「解説コラム」で詳しく解説をしています。ビッグデータと聞くだけで抵抗感を示す方も多いかと思っておりますが、RESAS、V-RESAS に関しては中学校や高校の総合的な探究の時間や地理等の授業で活用されており、多くの学生が使いこなしています。百聞は一見に如かずという言葉の通り、まずは本稿をお読みいただいている皆様にも利用して頂ければと思います。

### (2) 掲載データ

V-RESAS で公開しているデータは図表1の通りです。掲載されるデータは、個社・個人情報秘匿の観点を踏まえつつ、今後さらに細分化していくことを検討してい

ます。また、デザインや表示方法は、ユーザーの意見を踏まえ、随時改善していきます。（図表1）

## 2. データの見方、活用方法

トップページの最上部では、人流、消費及び飲食等の各メニューにおける全国の動向を表示しています。ここでは、メニューごとの増減率が都道府県ごとに色分けしています。全国単位で見た際に、直近における自地域の状況が他地域と比べどうであるかが視覚的かつ直感的に理解できされます。

一例として、株式会社 Agoop 社が提供する人流データを見てみましょう。スマートフォンの特定のアプリケーションから、ユーザーの同意の上取得したGPSデータを昼夜間人口をベースに人口統計化したデータを表示しています。V-RESAS のロゴマークの右横のプルダウンで、分析したい都道府県を指定してください。人流では、都道府県単位だけでなく、主要駅（当該駅を含む500m四方エリア）別に指定することも可能であり、滞在人口を①同じ市区町村内で移動している人、②同じ都道府県内で市区町村をまたいで移動してきている人、③異なる都道府県から移動してきている人の3区分に分けて、前年同週比を表示しています。観光客向けの事業を営んでいる方であれば、③が回復してくると集客も見込めるなど、マーケティングにも活用いただけます。また、時間帯毎のデータも見られます

図表1：データ一覧

データ項目（前年比）	地域単位	時間単位	データ提供会社
人の流れ（人の動きの活発度）	都道府県／地点	週次	株式会社 Agoop
飲食店（グルメサイトの閲覧状況）	都道府県／エリア	週次	Retty 株式会社
決済データ（クレジットカード利用者等での消費支出）	都道府県	半月次	株式会社 ジェーシービー 株式会社 ナウキャスト
POS（主にスーパーマーケットでの消費支出）	都道府県	週次	株式会社 日本経済新聞社 株式会社 ナウキャスト
宿泊施設（ホテル・旅館の予約の状況）	都道府県／エリア	月次／週次	観光予約プラットフォーム推進協議会
イベント（イベント開催やチケット予約の状況）	都道府県	月次	びあ 株式会社
興味・関心（検索キーワード）	都道府県	週次	ヤフー 株式会社
雇用（求人サイトの求人状況）	都道府県	週次	株式会社 ゴーリスト
企業財務（会計アプリで見た企業の財務状況）	全国	月次	freee 株式会社

ので、「6:00～9:00」の駅周辺の人口が多いと通勤・通学利用が多い、「18:00～20:00」の駅周辺の人口が減っていると宴会ニーズが落ちてきていて、自宅で食事をしている人が増加している、といった分析にもご活用いただけます。

浦和駅の動向を見ても、感染症拡大後は埼玉県外及びさいたま市外からの流入は落ち込み、依然昨年度の水準にまで戻っていません。他方、市内からの流入は緊急事態宣言後も概ね前年並みの水準を維持し、緊急事態宣言解除後は前年同月を超える水準を維持しています。遠出せず、近場の駅周辺に人が集まっているものと考えられます。(図表2)

### 3. さらに活用に向けて

#### (1) 留意点

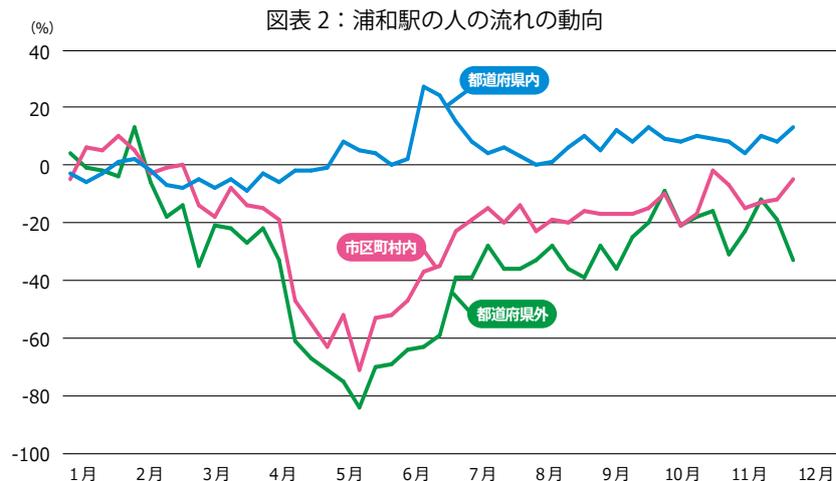
V-RESAS は足下の経済状況の把握を主眼にしているため、公的データとは性格が異なる点に留意が必要です。例えば、宿泊であれば「観光予測プラットフォーム推進協議会」と提携している旅行会社店頭・予約サイト等から匿名加工されたものを収集しているため、飛び込み客やホテルへの直接予約は含まれません。よって、各県で実施している観光統計の動向と多少異なる動きをするケースもあります。

飲食データでは、飲食店ホームページの閲覧数の前年同週比を表示しており、実際の来店客数・消費額等ではないことには注意が必要です。行きつけのお店に行く場合等を除けばインターネットで検索してから行く人が多いでしょうから、人々の飲食(外食)に対する行動の変容をかなりの程度見ることができるとの考えに基づきます。なお、当該データは前年同期比で表示するため、消費関連のデータは昨年10月の消費税増税に伴う駆け込み需要及び増税後の売り上げ減少の影響を考慮する必要もあります。

この他、サンプル数が少ないエリアにおいては、数字が大きく上下してしまうといった特徴があります。

#### (2) 終わりに

このシステムは、地方公共団体の政策立案のほか、地域経済を支える地域金融機関や商工団体の



出典：V-RESAS 株式会社 Agoop 「流動人口データ」を基に、  
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局ビッグデータチームにて再構成

方々が企業支援等をされる際にも、活用していただけたらと考えております。一口に感染症の影響と言っても、地域や時期ごとに差があり、業種やジャンルによっても異なります。各地域の方々が自ら、自分たちの地域への影響の大きさを把握し、より適切な行動をとるためにご活用いただければと考えています。

最後に、この記事を読んでいただき、実際に V-RESAS を使って頂いた方へのお願いです。V-RESAS はこれまでもデータの細分化等機能拡充に努めてきたところですが、引き続き様々な改良を図っていく予定です。そのために実際に V-RESAS を活用いただいた方のご意見を反映したく「こんなデータが欲しい」「こういう表示の方が分かりやすい」「こんな機能があると便利」等といったご意見をいただくと幸いです。

また、実際にご活用いただいた事例を、他の地域の方々と共有したい、と考えています。ある地域の方が「V-RESAS のデータから、こんな施策を考えた」や「この施策の効果を検証するのに、V-RESAS のこのデータを使った」といった事例を「解説コラム」に内に掲載し、別の地域の方がこれを参考にする、そんな V-RESAS の輪を広げていきたいと考えています。

地域の多くのステークホルダーが地方創生に取り組んで、感染症に打ち克ち、日本経済・地域経済を回復軌道に乗せるために、V-RESAS をお役に立てていただければ幸いです。

※1 本稿は、令和2年11月20日時点で更新されたデータに基づき執筆しています。

※2 今後、改善に伴いデータの区分等が変更される可能性がありますので、インフォメーションボタンの説明をご参照ください。